

第 31 回省エネルギー小委員会

2030 年エネルギーミックスにおける省エネ対策の現状と今後についての意見書

2021 年 3 月 23 日

(一財) 日本消費者協会

消費生活コンサルタント 市川まりこ

1. 省エネ対策の見直しに当たって

・省エネと再エネ拡大はどちらも重要ですが、考え方として優先すべきはまず省エネであり、そのうえで再エネ拡大も目指すという視点が重要だと考えます。省エネ深掘り政策と再エネ導入拡大政策はそれぞれ分けて示すことで、わかりやすく前に進めることができるのではないのでしょうか。

・私たちの暮らしはエネルギーなくしては成り立たないものです。エネルギー転換を進めるにあたっては、特に国民生活への影響に配慮してほしいと思います。FIT を含む電気料金のこれ以上の上昇や、電気の安定供給不安、経済活動への過剰な足かせとなっては困ります。再エネや原子力等の非化石エネルギーの状況を観ながら、社会的なコストを最小化する仕組みで進めるといふ姿勢が不可欠だと考えます。

2. 情報提供について

・エネ庁 HP を久しぶりに訪れて、トップページの柔らかい雰囲気にご満足しました。人気記事ランキングは思わず読みたくなりました。スペシャルコンテンツで、「カーボンニュートラル」についての解説を拝読しました。堅苦しくない書き方、見せ方、作り方だと思いました。これからも期待しています。